

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK34)

(函館水試担当地区)

2010年12月24日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾西部	12/21	0	7.7	33.42	0	0	0	0	0	
八雲		5	7.7	33.44	0	0	0	0	50	Dt50
11.0		10	7.7	33.45	0	0	0	0	10	Dt10
		15	7.7	33.45	0	0	0	0	10	Dt10
		20	7.7	33.46	0	0	0	0	20	Dt20
		25	7.9	33.57	0	0	0	0	0	
		30	7.2	33.63	0	0	0	0	0	
津軽海峡	12/21	0	11.9	33.49	0	0	0	0	0	
知内		10	11.9	33.52	0	0	0	0	0	
12.0		20	12.0	33.52	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォールティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は12月下旬は、噴火湾西部は7.2～7.7°C、津軽海峡は11.9～12.0°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK33)

(函館水試担当地区)

2010年12月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾東部	12/14	0	8.3	—	0	0	0	0	30	Dt30
虻田		5	8.6	—	0	0	0	0	20	Dt20
11.0		10	8.3	—	0	0	0	0	10	Dt10
		15	8.3	—	0	0	0	0	0	
		20	8.2	—	0	0	0	0	0	
		25	8.2	—	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は12月中旬は、噴火湾東部は8.2~8.6°Cです。

塩分は機器不調のため欠測。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK32)

(函館水試担当地区)

2010年12月16日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾湾口部	12/3	0	9.0	32.41	0	0	0	0	10	Dt10
鹿部		5	9.1	33.46	0	0	0	10	10	Dt10
14.0		10	9.1	33.46	0	0	0	0	10	Dt10
		15	9.1	33.47	0	0	0	0	0	
		20	9.0	33.47	0	0	0	0	10	Dt10
		25	8.8	33.47	0	0	0	0	0	
		30	8.7	33.46	0	0	0	0	40	Dt40
		40	7.4	33.49	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォールティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラククス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

水温は12月上旬は、噴火湾湾口部は7.4~9.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK31)

(函館水試担当地区)

2010年12月6日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部 静内 4.9	12/2	0	9.0	33.49	0	0	0	0	10	Dt10
		10	8.4	33.50	0	0	0	0	0	
		20	5.1	33.46	0	0	0	0	0	
		30	4.2	33.46	0	0	0	0	0	
噴火湾西部 森 13.5	12/1	0	10.9	33.31	0	0	0	0	30	Dt30
		10	10.9	33.39	0	0	0	0	40	Dt30, Dm10
		20	11.0	33.41	0	0	0	0	30	Dt30
		30	11.0	33.41	0	0	0	0	40	Dt40

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

水温は12月上旬は、太平洋中部は4.2~9.0°C、噴火湾西部は10.9~11.0°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK30)

(函館水試担当地区)

2010年11月29日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾西部 八雲 6.5	11/25	0	10.4	32.41	0	0	0	0	60	Dt60
		5	10.7	32.85	0	0	0	0	0	
		10	10.8	32.96	0	0	0	0	10	Dt10
		15	11.2	33.11	0	0	0	0	10	Dt10
		20	11.4	33.21	0	0	10	0	90	Dt90
		25	11.7	33.30	0	0	0	0	20	Dt20
津軽海峡 知内 12.0	11/24	0	15.4	33.26	0	0	0	0	0	
		10	15.4	33.31	0	0	0	0	0	
		20	15.0	33.35	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロテンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は11月下旬は、噴火湾西部は10.4~11.8°C、津軽海峡は15.0~15.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK29)

(函館水試担当地区)

2010年11月18日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部 静内 11.0	11/8	0	14.0	33.55	0	0	10	0	10	Dt10
		10	13.9	33.52	0	0	10	0	10	Di10
		20	13.8	33.54	0	0	0	0	0	
		30	13.4	33.61	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 虻田 9.5	11/8	0	機器不調・欠測		0	0	0	0	60	Dt60
		5	機器不調・欠測		0	0	0	0	100	Dt90, Dm10
		10	機器不調・欠測		0	0	0	0	40	Dt40
		15	機器不調・欠測		0	0	0	0	30	Dt30
		20	機器不調・欠測		0	0	0	0	0	
		25	機器不調・欠測		0	0	0	0	0	
噴火湾西部 森 14.0	11/16	0	12.6	33.18	0	0	0	0	80	Dt80
		10	12.7	33.26	0	0	0	0	100	Dt100
		20	12.7	33.26	0	0	0	0	140	Dt140
		30	12.7	33.28	0	0	10	0	150	Dt150
噴火湾湾口部 鹿部 12.0	11/11	0	13.9	33.23	0	0	0	0	140	Dt140
		5	13.9	33.28	0	0	0	0	170	Dt170
		10	13.9	33.26	0	0	0	0	70	Dt70
		15	13.9	33.26	0	0	10	0	130	Dt120, Dru10
		20	13.9	33.27	0	0	0	0	100	Dt90, Dro10
		25	13.9	33.28	0	0	10	0	100	Dt100
		30	13.9	33.28	0	0	0	0	40	Dt40
		40	13.8	33.27	0	0	0	0	10	Dt10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェンガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は11月中旬は、太平洋中部は13.4~14.0°C、噴火湾東部は機器不調のため欠測、噴火湾西部は12.6~12.7°C、噴火湾湾口部は13.8~13.9°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK28)

(函館水試担当地区)

2010年11月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
津軽海峡	10/28	0	17.2	33.28	0	0	0	10	0	
知内		10	17.2	33.36	0	0	0	0	0	
16.0		20	16.4	33.54	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡に出現しています。

水温は10月下旬は、津軽海峡は16.4~17.2°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK27)

(函館水試担当地区)

2010年10月18日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部 静内 3.2	10/6	0	17.6	33.09	0	0	0	0	50	Dt20, Dm20, Dro10
		10	17.7	33.47	0	0	0	0	20	Dm20
		20	16.8	33.55	0	0	0	0	0	
		30	16.0	33.59	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 虻田 14.0	10/12	0	17.5	29.99	0	0	0	0	620	Dt590, Dm30
		5	17.6	32.81	0	0	10	0	510	Dt450, Dm60
		10	17.6	32.90	0	0	0	0	500	Dt420, Dm80
		15	17.6	32.93	0	0	10	0	280	Dt260, Dm20
		20	17.5	33.08	0	0	10	0	60	Dt60
25	17.4	33.13	0	0	0	0	0			
噴火湾西部 八雲 6.5	10/14	0	17.7	31.51	0	0	0	0	560	Dt480, Dm70, Dro10
		5	17.6	32.51	0	0	0	10	730	Dt700, Dm30
		10	17.6	35.62	0	0	10	0	820	Dt690, Dm130
		15	17.5	32.76	0	0	0	0	140	Dt130, Dm10
		20	17.5	32.85	0	0	0	0	230	Dt230
		25	17.4	32.89	0	0	0	0	230	Dt200, Dm30
30	17.2	32.95	0	0	0	0	220	Dt200, Dm20		
噴火湾西部 森 10.0	10/12	0	17.7	32.48	0	0	10	0	1030	Dt910, Dm120
		10	17.6	32.49	0	0	0	0	950	Dt830, Dm120
		20	17.4	32.49	0	0	0	0	540	Dt510, Dm30
		30	17.1	32.93	0	0	0	0	60	Dt60
噴火湾湾口部 鹿部 13.0	10/14	0	17.5	32.49	0	0	0	0	1170	Dt1080, Dm90
		5	17.5	32.52	0	0	10	0	850	Dt740, Dm110
		10	17.4	32.55	0	0	0	0	980	Dt900, Dm80
		15	17.4	32.59	0	0	0	0	900	Dt770, Dm130
		20	17.4	32.63	0	0	0	0	300	Dt280, Dm20
		25	17.1	32.81	0	0	0	0	160	Dt160
		30	17.0	32.93	0	0	0	0	50	Dt40, Dm10
40	15.7	33.07	0	0	0	0	10	Dt10		

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は10月中旬は、太平洋中部は16.0~17.6°C、噴火湾東部は17.4~17.5°C、噴火湾西部は17.1~17.7°C、噴火湾湾口部は15.7~17.5°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK26)

(函館水試担当地区)

2010年10月1日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
津軽海峡	9/30	0	20.6	33.60	0	0	0	0	0	Alexandrium sp.70
知内		10	19.7	33.75	0	0	0	0	0	Alexandrium sp.40
11.0		20	17.9	34.00	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

Alexandrium属のプランクトンが確認されましたが、有毒種ではない事を確認しました。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡に出現していません。

水温は9月下旬は、津軽海峡は17.9~20.6°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK25)

(函館水試担当地区)

2010年9月28日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾西部 八雲 9.0	9/21	0	22.2	30.62	0	0	0	10	590	Dt410, Dm180
		5	22.1	30.68	0	0	0	0	560	Dt310, Dm250
		10	20.3	32.21	0	0	0	20	860	Dt710, Dm150
		15	16.7	32.17	0	0	0	10	590	Dt420, Dm160, Dro10
		20	15.4	32.39	0	0	30	20	460	Dt350, Dm110
		25	15.4	32.82	0	0	20	0	80	Dt40, Dm40
		30	15.0	32.86	0	0	0	0	30	Dm30

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィス ノルヴェンガ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィス インファンテブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は9月下旬は、噴火湾西部は15.0~22.2°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK24)

(函館水試担当地区)

2010年9月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾東部 虻田 11.0	9/13	0	22.8	30.04	0	0	0	0	240	Dt100, Dm130, Di10
		5	22.5	30.09	0	0	0	0	330	Dt100, Dm220, Dro10
		10	20.3	31.74	0	0	0	0	410	Dt340, Dm70
		15	17.3	32.57	0	0	0	0	110	Dt110
		20	15.7	33.10	0	0	0	0	60	Dt60
		25	15.1	33.38	0	0	0	0	20	Dt20
噴火湾西部 森 9.5	9/13	0	15.5	31.64	0	0	20	0	350	Dt320, Dm30
		10	12.2	32.08	0	0	60	0	320	Dt290, Dm10, Dn10, Di10
		20	10.3	32.26	0	0	60	0	30	Dt30
		30	10.3	32.67	0	0	20	0	30	Dt30
噴火湾湾口部 鹿部 16.0	9/15	0	21.5	31.15	0	0	0	0	220	Dt220
		5	21.6	32.60	0	0	0	10	320	Dt300, Dm20
		10	21.4	32.67	0	0	0	0	10	Dt10
		15	19.7	32.59	0	0	0	20	210	Dt210
		20	16.6	32.25	0	0	40	0	140	Dt130, Dro10
		25	14.6	32.75	0	0	10	10	20	Dt20
		30	12.6	32.51	0	0	0	0	20	Dt20
40	11.3	32.83	0	0	0	0	50	Dt50		

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトニコラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は9月中旬は、噴火湾東部は15.1~22.8°C、噴火湾西部は10.3~15.5°C、噴火湾湾口部は11.3~21.5°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK23)

(函館水試担当地区)

2010年9月3日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部	9/1	0	22.4	32.13	0	0	10	0	0	
静内		10	15.8	33.00	0	0	130	10	20	Dm20
8.2		20	13.2	33.22	0	0	40	0	30	Dro30
		30	13.0	33.20	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェーガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。

水温は9月初旬は、太平洋中部は13.0~22.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK22)

(函館水試担当地区)

2010年8月27日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾西部 八雲 14.5	8/24	0	24.1	29.41	0	0	0	0	60	Dm60
		5	23.9	29.68	0	0	0	0	90	Dm50, Dt40
		10	18.9	31.33	0	0	10	170	300	Dt290, Dro10
		15	12.9	31.95	0	0	100	110	350	Dt350
		20	8.4	32.23	0	0	40	50	90	Dt90
		25	7.0	32.46	0	0	10	30	10	Dt10
噴火湾湾口部 鹿部 10.0	8/20	0	18.9	30.81	0	0	0	20	190	Dt190
		5	16.4	31.60	0	0	0	90	280	Dt280
		10	12.6	32.22	0	0	10	0	100	Dt90, Dro10,
		15	8.6	32.19	0	0	110	40	430	Dt410, Dm10, Dn10
		20	8.0	32.45	0	0	40	20	50	Dt50
		25	6.5	32.68	0	0	0	0	30	Dt30
		30	6.1	32.70	0	0	0	0	30	Dt20, Dn10
		40	5.8	32.75	0	0	0	0	20	Dt10, Dn10

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウヱンガ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は8月下旬は、噴火湾西部は6.4~24.1°C、噴火湾湾口部は5.8~18.9°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK21)

(函館水試担当地区)

2010年8月20日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾西部 森 10.0	8/17	0	23.4	27.97	0	0	0	0	100	Dt90, Dro10
		10	19.9	31.17	0	0	0	130	200	Dt190, Dro10
		20	10.9	31.66	0	0	60	20	280	Dt260, Dn20
		30	6.7	32.47	0	0	10	0	20	Dt10, Dn10
津軽海峡 知内 14.5	8/19	0	24.1	33.67	0	0	0	0	10	Dro10
		10	21.7	33.77	0	0	0	0	0	
		20	20.6	33.93	0	0	10	0	10	Dro10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

水温は8月中旬は、噴火湾西部は6.7~23.4°C、津軽海峡は20.6~24.1°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK20)

(函館水試担当地区)

2010年8月9日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部	8/2	0	15.6	30.09	0	0	10	0	70	Dn70
静内		10	14.3	31.58	0	0	0	0	140	Dn140
2.8		20	9.3	32.39	0	0	0	0	50	Dn50
		30	6.5	32.77	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェーガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。

水温は8月上旬は、太平洋中部は6.5～15.6°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2010年7月27日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾東部 虻田 12.0	7/20	0	21.8	30.42	0	0	0	0	0	
		5	18.3	31.17	0	0	0	20	0	
		10	15.2	31.60	0	0	10	40	0	
		15	10.0	32.26	0	0	0	50	30	Dn30
		20	9.0	32.60	0	0	0	0	30	Dn30
		25	8.0	32.66	0	0	0	0	0	
噴火湾西部 八雲 11.0	7/26	0	21.8	30.93	0	0	0	10	10	Di10
		5	19.6	31.25	0	0	0	10	10	Di10
		10	17.2	31.72	0	0	0	210	10	Di10
		15	12.5	31.74	0	0	0	140	0	
		20	9.1	31.98	0	0	30	210	10	Di10
		25	7.9	32.18	0	0	10	90	10	Dn10
		30	6.2	32.54	0	0	10	10	0	
噴火湾西部 森 13.0	7/26	0	20.6	30.87	0	0	0	0	10	Di10
		10	15.9	31.46	0	0	0	50	10	Di10
		20	8.4	32.05	0	0	20	120	0	
		30	6.1	32.54	0	0	0	20	20	Dn20

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は7月下旬は、噴火湾東部は8.0~21.8°C、噴火湾西部は6.1~21.8°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2010年7月21日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部 静内 5.9	7/14	0	12.3	31.65	90	0	0	0	440	Dn420, Dro20
		10	10.6	32.15	0	0	0	0	760	Dn750, Dt10
		20	10.3	32.17	0	0	0	0	160	Dn160
		30	9.5	32.19	0	0	0	0	100	Dn100
噴火湾湾口部 鹿部 11.5	7/16	0	16.5	31.53	0	0	0	10	30	Di30
		5	14.9	31.83	0	0	10	0	30	Dn30
		10	12.8	31.92	0	0	20	30	80	Dn50, Di30
		15	9.3	32.42	0	0	10	10	20	Dn20
		20	6.8	32.49	0	0	0	10	40	Dn30, Dro10
		25	6.3	32.64	0	0	0	0	60	Dn40, Dro20
		30	5.8	32.81	0	10	0	0	20	Dn10, Dro10
40	5.5	32.82	0	0	0	0	10	Dn10		
津軽海峡 知内 14.0	7/21	0	19.2	33.65	0	0	0	0	0	
		10	12.9	33.96	0	0	0	0	0	
		20	12.1	34.03	0	0	0	0	10	Dru10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウヰンガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

水温は7月中旬は、太平洋中部は9.5～12.3°C、噴火湾湾口部は5.5～16.5°C、津軽海峡は12.1～19.2°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2010年7月12日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾東部	7/5	0	20.7	30.42	0	0	0	0	0	
虻田		5	17.0	31.13	0	0	0	10	20	Di20
13.0		10	10.1	31.62	0	0	0	180	70	Dn50, Di10, Dro10
		15	7.4	32.12	0	0	0	40	20	Dn10, Dro10
		20	6.0	32.47	0	0	0	0	0	
		25	4.8	32.63	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンディブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は7月初旬は、噴火湾東部は4.8~20.7°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2010年7月6日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部 静内 21.4	7/5	0	13.8	31.61	90	0	0	0	30	Dn30
		10	10.9	32.14	0	0	0	30	360	Dn360
		20	10.3	32.22	0	0	0	10	350	Dn350
		30	6.8	32.20	0	0	0	0	50	Dn50
噴火湾西部 森 14.0	7/5	0	19.9	31.02	0	0	0	10	0	
		10	8.6	31.81	10	0	0	40	30	Dn20, Dro10
		20	6.2	32.28	0	0	0	60	40	Dn30, Dro10
		30	6.2	32.73	0	0	0	0	10	Dn10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

水温は7月初旬は、太平洋中部は6.8~13.8°C、噴火湾西部は6.2~19.9°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2010年6月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾西部 八雲 9.0	6/21	0	15.8	30.68	70	0	0	80	0	
		5	12.6	31.35	0	0	0	170	130	Dn120, Dro10
		10	9.2	31.87	0	0	0	160	140	Dn130, Dro10
		15	7.9	32.01	0	0	0	60	40	Dn40
		20	6.9	32.21	0	0	0	20	40	Dn40
		25	6.1	32.41	0	0	0	10	120	Dn120
噴火湾湾口部 鹿部 8.5	6/17	0	13.3	31.35	0	0	0	10	20	Dn20
		5	11.4	31.53	0	0	0	10	20	Dn20
		10	8.9	31.78	0	0	0	0	30	Dn20, Dro10
		15	7.1	32.12	0	0	0	0	30	Dn20, Dro10
		20	6.7	32.22	0	0	10	10	10	Dn10
		25	6.3	32.37	0	0	0	0	30	Dn30
		30	6.1	32.49	0	0	0	0	0	
40	5.9	32.80	0	0	0	0	0			

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウヰンガ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は6月下旬は、噴火湾西部は5.2～15.8℃、噴火湾湾口部は5.9～13.3℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2010年6月18日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部 静内 9.0	6/15	0	12.2	32.00	0	0	0	0	10	Dn10
		10	11.5	32.42	0	0	0	0	10	Dn10
		20	8.0	32.53	0	0	0	0	0	
		30	6.0	32.82	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 虻田 8.0	6/7	0	14.8	27.31	0	0	0	0	0	
		5	10.0	31.49	0	0	0	30	130	Dn130
		10	8.1	31.83	0	0	0	90	180	Dn180
		15	7.3	32.02	0	0	0	0	0	
		20	6.9	32.12	0	0	0	0	0	
	25	6.1	32.29	0	0	0	0	0		
津軽海峡 知内 11.0	6/17	0	14.1	33.35	0	0	0	0	0	
		10	12.4	33.58	0	0	0	0	0	
		20	12.4	33.58	0	0	10	0	10	Dn10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡に出現しています。

水温は6月中旬は、太平洋中部は6.0~12.2°C、噴火湾東部は6.1~14.8°C、津軽海峡は12.4~14.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2010年6月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部 静内 5.8	6/2	0	8.2	31.65	0	0	0	0	10	Dn10
		10	6.8	31.89	10	0	0	0	450	Dn450
		20	6.0	32.00	0	0	0	0	130	Dn130
		30	5.0	32.59	0	0	0	0	0	
噴火湾西部 森 6.5	6/3	0	10.9	30.93	300	0	0	100	0	
		10	8.6	31.73	60	0	0	120	60	Dn60
		20	7.2	32.01	20	0	0	20	30	Dn30
		30	6.3	32.25	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾西部に出現しています。

水温は6月初旬は、太平洋西部は5.0~8.2°C、噴火湾西部は6.3~10.9°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2010年6月1日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾西部 森 3.5	5/27	0	10.4	31.07	460	0	0	280	700	Dn700
		10	8.4	31.80	360	10	0	40	30	Dn30
		20	8.0	31.90	110	0	0	0	20	Dn20
		30	7.2	31.98	30	0	0	10	40	Dn40

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルトイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェーシカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部出現しています。

水温は5月下旬は、噴火湾西部は7.2~10.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2010年5月31日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部 静内 2.5	5/26	0	7.8	31.16	80	0	0	0	10	Dn10
		10	6.7	31.68	0	10	0	30	80	Dn80
		20	6.4	31.76	0	0	0	30	170	Dn170
		30	6.3	31.78	0	0	0	0	100	Dn100
噴火湾東部 虻田 7.0	5/24	0	10.1	31.09	300	0	0	270	70	Dn70
		5	10.0	31.12	280	0	0	170	40	Dn40
		10	9.5	31.57	120	0	0	370	110	Dn110
		15	9.7	31.67	110	0	0	230	90	Dn90
		20	9.8	31.71	60	0	0	90	50	Dn40, Dro10
		25	9.5	31.76	60	0	0	40	100	Dn100

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部に出現しています。

水温は5月下旬は、太平洋西部は6.3~7.8°C、噴火湾東部は9.5~10.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK9)

(函館水試担当地区)

2010年5月26日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
噴火湾湾口部 鹿部 9.5	5/21	0	6.7	32.27	0	0	0	0	10	Dn10
		5	6.0	32.29	0	0	0	10	0	
		10	5.2	32.50	10	0	0	50	20	Dn20
		15	4.9	32.61	30	0	0	10	50	Dn50
		20	4.4	32.70	0	0	0	0	10	Dn10
		25	4.2	32.73	0	0	0	0	0	
		30	4.1	32.75	0	0	0	0	0	
津軽海峡 知内 10.0	5/19	0	10.1	33.84	0	0	0	0	0	
		10	9.8	33.81	0	0	0	0	0	
		20	9.6	33.84	0	0	0	0	0	
			9.6	33.84	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルウェンガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

水温は5月中旬は、噴火湾湾口部は3.9~6.7°C、津軽海峡は9.6~10.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK8)

(函館水試担当地区)

2010年5月18日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部 静内 3.8	5/10	0	6.0	31.86	10	0	0	0	0	
		10	3.7	32.52	30	0	0	0	30	Dn30
		20	3.4	32.72	0	0	0	0	0	
		30	3.3	32.82	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 虻田 12.0	5/10	0	6.6	31.58	50	0	0	30	30	Dn30
		5	5.8	32.28	0	0	0	10	20	Dn20
		10	5.5	32.43	0	0	0	0	40	Dn40
		15	5.4	32.46	0	0	0	0	40	Dn40
		20	5.4	32.48	0	0	0	0	10	Dn10
25	5.2	32.52	0	0	0	0	0			
噴火湾西部 八雲 7.5	5/17	0	9.0	31.32	730	0	0	50	20	Dn10, Dro10
		5	6.9	31.82	60	0	0	20	0	
		10	5.1	31.95	20	0	0	0	0	
		15	5.0	32.26	0	0	0	0	0	
		20	4.9	32.40	0	0	0	0	0	
		25	4.7	32.49	20	0	0	0	0	
30	4.4	32.55	0	0	0	0	0			
噴火湾西部 森 4.0	5/10	0	6.8	29.46	20	0	0	0	0	
		10	5.0	32.08	0	0	0	0	0	
		20	4.7	32.41	0	0	0	0	0	
		30	3.9	32.67	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部出現しています。

水温は5月中旬は、太平洋西部は3.3~6.0°C、噴火湾東部は5.2~6.6°C、噴火湾西部は3.9~9.0°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK7)

(函館水試担当地区)

2010年4月27日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
太平洋中部 静内 3.0	4/19	0	5.0	32.31	0	0	0	0	0	
		10	4.2	32.93	0	0	0	30	0	
		20	4.7	33.35	0	0	0	0	0	
		30	4.7	33.35	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 虻田 17.0	4/26	0	4.5	31.74	10	0	0	0	0	
		5	4.0	32.36	0	0	0	0	10	Dn10
		10	3.9	32.57	0	0	0	0	0	
		15	3.3	32.67	0	0	0	0	0	
		20	3.3	32.90	0	0	0	0	0	
噴火湾西部 八雲 6.0	4/19	0	欠測	欠測	0	0	0	0	0	
		5	欠測	欠測	10	0	0	10	0	
		10	欠測	欠測	0	0	0	0	0	
		15	欠測	欠測	0	10	0	0	20	Dn20
		20	欠測	欠測	0	0	0	0	10	Dn10
噴火湾西部 森 6.5	4/16	0	3.0	32.37	0	0	0	10	0	
		10	2.7	32.58	0	0	0	0	0	
		20	2.7	32.65	0	10	0	10	10	Dn10
		30	2.8	32.65	0	10	0	0	0	
		噴火湾西部 森 11.0	4/23	0	3.4	32.03	0	0	0	0
10	3.3	32.61	0	0	0	0	0	0		
20	3.0	32.76	0	10	0	0	0	0		
30	3.0	32.80	0	0	0	0	0	0		
噴火湾湾口部 鹿部 4.0	4/19	0	4.2	32.35	0	0	0	0	10	Dn10
		5	3.2	32.43	10	10	0	10	0	
		10	3.0	32.62	0	0	0	0	0	
		15	2.9	32.69	10	10	0	0	0	
		20	2.9	32.72	0	0	0	10	0	
		25	2.9	32.72	0	0	0	0	0	
		30	2.9	32.74	0	0	0	0	0	
40	3.0	32.81	0	0	0	0	0			
津軽海峡 知内 10.0	4/19	0	7.7	33.43	0	0	0	0	0	
		10	7.5	33.96	0	0	0	0	0	
		20	7.5	33.95	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキユミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェーガ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に少数出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

水温は4月中下旬は、太平洋西部は4.2~5.0°C、噴火湾東部は3.3~4.5°C、噴火湾西部は2.7~3.4°C、噴火湾湾口部は2.9~4.2°C、津軽海峡は7.5~7.7°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK6)

(函館水試担当地区)

2010年4月16日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	4/6	0	3.9	32.75	0	0	0	10		
太平洋中部 2.4		10	3.4	32.80	0	0	0	0		
		20	3.5	33.15	0	0	0	0		
		30	3.8	33.27	0	0	0	0		
虻田	4/12	0	5.3	24.34	10	0	0	0		
噴火湾東部 4.0		5	3.5	32.62	0	0	0	0		
		10	2.9	32.80	0	0	0	0		
		15	2.5	32.89	0	0	0	0		
		20	2.5	32.98	0	0	0	0		
		25	2.9	33.05	0	0	0	0		

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラククス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。
麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部に出現しています。
下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

水温は4月上旬は、太平洋西部は3.9～3.4°C、噴火湾東部は2.5～5.3°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK5)

(函館水試担当地区)

2010年3月23日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 6.0	3/18	0	欠測	欠測	0	0	0	0	0	
		5	欠測	欠測	0	0	0	30	10	Dn10
		10	欠測	欠測	20	0	0	0	10	Dn10
		15	欠測	欠測	10	0	0	20	0	
		20	欠測	欠測	0	0	0	10	0	
		25	欠測	欠測	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 9.0	3/19	0	1.5	32.53	0	0	0	10	10	Dn10
		5	1.3	32.51	10	10	0	20	0	
		10	1.3	32.51	0	0	0	0	0	
		15	1.0	32.55	0	0	0	10	0	
		20	1.0	32.55	0	0	0	20	0	
		25	1.0	32.56	10	0	0	10	0	
知内 津軽海峡 8.0	3/17	0	5.4	33.50	0	0	0	0	0	
		10	5.4	33.51	0	0	0	10	0	
		20	6.4	34.02	0	0	0	10	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

水温は3月中旬は、噴火湾湾口部は1.0～1.5°C、津軽海峡は5.4～6.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK4)

(函館水試担当地区)

2010年3月16日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	3/15	0	2.1	32.79	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		10	2.2	32.83	0	0	0	0	0	
6.0		20	2.2	32.84	0	0	0	0	0	
		30	2.2	32.84	10	0	0	0	10	Di10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部には出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に少数出現しています。

水温は3月中旬は、噴火湾西部では2.1~2.2°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK3)

(函館水試担当地区)

2010年3月15日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	3/4	0	1.0	32.32	0	0	0	0	0	
太平洋中部 6.9		10	0.5	32.39	0	0	0	0	0	
		20	0.4	32.41	0	0	0	0	0	
		30	0.4	32.42	0	0	0	0	0	
虻田	3/8	0	1.5	32.63	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 5.0		5	1.5	32.63	0	0	0	10	0	
		10	1.4	32.64	0	0	0	20	0	
		15	1.4	32.66	0	0	0	0	0	
		20	1.4	32.69	0	0	0	10	0	
		25	1.5	32.65	0	0	0	0	0	
知内	2/26	0	7.5	33.85	0	0	0	0	0	
津軽海峡 9.0		10	7.4	33.92	0	0	0	0	0	
		20	7.6	33.95	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシ フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシ・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシ ノルウェーガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシ トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシ ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシ コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシ インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシ ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシ ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に少数出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、津軽海峡には出現していません。

水温は2月下旬～3月初旬は、太平洋西部では0.4～1.0°C、噴火湾東部では1.4～1.5°C、津軽海峡では7.4～7.6°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK2)

(函館水試担当地区)

2010年2月17日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	属の他種 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋西部 12.3	2/5	0	2.0	32.83	0	0	0	0	0	
		10	1.9	32.84	0	0	0	0	0	
		20	1.8	32.91	0	0	0	0	0	
		30	2.0	32.96	0	0	0	0	10	Dru10
虻田 噴火湾東部 12.0	2/8	0	3.7	33.22	0	0	0	0	0	
		5	3.8	33.22	0	0	0	0	0	
		10	3.8	33.22	0	0	0	0	0	
		15	3.8	33.25	0	0	0	0	0	
		20	3.8	33.23	0	0	0	0	0	
		25	欠測	欠測	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 8.5	2/16	0	2.7	33.06	0	0	0	0	0	
		5	3.0	33.14	10	0	0	0	0	
		10	3.0	33.13	0	0	0	0	0	
		15	3.0	33.15	0	0	0	0	10	Dro10
		20	2.9	33.17	0	0	0	0	0	
		25	2.7	33.18	0	0	0	0	0	
		30	2.8	33.11	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プトゴニオラクタス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾西部に少数出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

水温は2月初～中旬は、太平洋西部では1.8～2.0°C、噴火湾東部では3.7～3.8°C、噴火湾西部では2.7～3.0°Cです。

(担当: 馬場勝寿・菅原理恵子)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK1)

(函館水試担当地区)

2010年1月14日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	属の他種 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	1/8	0	3.1	32.46	0	0	0	0	0	
太平洋西部 4.3		10	3.2	32.55	0	0	0	0	0	
		20	3.2	32.55	0	0	0	10	0	
		30	3.3	32.59	0	0	0	0	0	
虻田	1/12	0	5.5	31.74	0	0	0	0	10	Dt10
噴火湾東部 15.0		5	5.9	33.16	0	0	0	0	0	
		10	6.2	31.84	0	0	0	0	0	
		15	6.3	31.89	0	0	0	0	0	
		20	6.3	31.92	0	0	0	0	0	
		25	6.3	32.04	0	0	0	0	0	
知内	1/13	0	9.8	33.80	0	0	0	0	0	
津軽海峡 15.0		10	9.8	33.88	0	0	0	0	0	
		20	9.8	33.86	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部に少数出現しています。下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

水温は1月中旬は、太平洋西部では3.1~3.3°C、噴火湾東部では5.5~6.3°C、津軽海峡では9.8°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)